年間テーマ
「主の恵みに生かされて歩む教会」

No,431

# ペンテコステ

2025年8月1日
（毎月1回1日発行）
カトリック谷山教会
〒891-0113
鹿児島市東谷山 2-33-13
TEL･099-268-2084
FAx･099-284-5738
E-Mail:taniyama-cc@Lagoonne.jp URL.https：//catholic-tc.jp
発行人 盛 克志神父　編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

## 平和を実現する人々は、幸いである

カトリック谷山教会主任司祭　盛　克志

フランシスコ・ザビエルがここ、鹿児島に上陸した日が8月15日であり、また教会の暦では、この日は「聖母被昇天の日」でもあります。そして、今年は80年目の「終戦記念日」でもあります。この月、改めて「平和」について思い巡らしてみてはいかがでしょうか。

いまでもあちらこちらで戦争の無残さをネットやテレビや新聞を通して見ている私たちは、戦争ということが過去の出来事ではない、そしてドラマの世界でもない私たちの現実であることを実感する日々です。

しかし、「平和」は、ただ戦争がない状態だけではありません。より積極的に他者との関わりの中で、お互いを尊重し、いたわってより良く生きることを目指すという意味を含んでいます。

マタイによる福音書の 5 章から 7 章にある「山上の説教」の中でのイエス・キリストの言葉。「平和を実現する人々」と訳されている言葉は、たった一つの単語（エイレーノポイオイ）です。新約聖書ではこの箇所にしか使われていない言葉です。

本当に平和を実現する人は、人間の罪深さと無力さを知っている人です。そして、人間のあらゆる努力では真の平和は実現できないということを心の底から知っている人です。真の平和は、私たちに与えられる神様の力によってのみ、なされることを知っています。

キリストが私達に告げる平和は、何か難しいこと、遠いこと、大変なことによって「実現する」平和ではないと思うのです。日々のささやかな歩み、その中での一つ一つを通して実現する、そんな「平和」をイエス様は示されていると思います。

平和は、それについてただ知っているだけではなく、実際に自分達の生活の中に作り出し、実現しなければならないのものです。

いつも私たちと共にいて力づけてくださるイエス・キリストの助けと導きを信じて、平和を追い求め、平和に生きようと祈り願う8月の日々を過ごしたいと思います。

# 8月の教会暦より

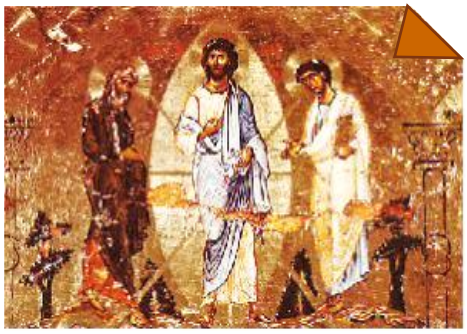
## 8月1日（金） 聖アルフォンソ・マリア・デ・リゴリ記念日

聖アルフォンソは、1696年イタリアのナポリで生まれた。多くの才能を持ち、16歳の時に法律博士となり弁護士として働いた。

しかし、25歳の時霊的生活に目を開かれ、1726年30歳の時司祭になり、「貧者に福音を宣べ伝えよ」をモットーに同士と共にナポリ市郊外のスカラの農民に伝える目的で出かけ レデンプトールの始まりとなる修道院を創設した。彼は、「どんな人でも神から愛されています」の言葉と共に、人々に神の愛を説くためにあらゆる手段を用い、42年間総長として修道院を指導した。彼は、近代ヨーロッパの信仰生活や道徳に根本的な方向づけをし「愛は愛をもとめます」ということを強調した。 1787年91歳で帰天。

「レデンプトール修道会聖人と福者より

## 8月6日（水） 主の変容 祝日



“イエスは来るべき受難の前に、十二使徒のなかのペトロとヤコブ、ヨハネの 3 人を連れ、高い山に登った。

そのとき、弟子たちの前で突然、イエスは白く光り輝く姿となった。そして、イエスの両側には、旧約時代の「十戒」のモーセと預言者のエリアが現れた。「主の変容」は、このことを記念する日だ。

イエスは変容ののち、山から降りる途中で、自らの受難と復活の預言を、弟子たちに告げたのだった。”

電子書籍 中島真澄著

## ～笹の葉さらさら～

シスター安藤克子

桜川町内会の皆さま ありがとうございます。

＊支え合う町づくり ＊七夕が揺れる街 ＊元気であいさつ ＊住みよい街 ＊世界の平和

七月のある日、今年も桜川町内会のお方が、雨に濡れても大丈夫のように工夫された文字入りの短冊や、美しく飾られた七夕飾りをお持ちくださり、教会の前庭にしっかりとたててくださいました。

「七夕のゆれる街」の書の通り「雨ニモマケズ」家並み毎に七夕飾りがゆれ “きれいだねー、今時、七夕飾り作りがあって この町内会は良いね”などのお声を耳にしました。

地域のお一人おひとりが “幸せであるように、世界中のお一人おひとりに平和が、幸せが訪れますように！”との祈り、希いを込めて作られているようで、私は幸せな気持ちで毎日眺めさせていただいております。

教会では、2025 年「通常聖年」の道を各々が歩かせていただいていますが、私たちすべての人にとっての（全被造物を含めて一）目標は、何なのでしょうか。

「（神との完全な愛の交わりについて）わたしのすべてをささげてあなたに結ばれるとき、何の悲しみも苦しみもなくなるでしょう。その時、わたしの生はまったくあなたに満たされ、真に生ける者となることでしょう。」（アウグスティヌスの言葉） 続く

7/20(日)14:00～
聖アルフォンソ合唱団

桜川町内会の七夕飾り

本格的な暑さが始まる８月を迎えました。
韓国はこの時期になると、多くの人が暑さを避けて山や海を旅します。
また、近くの外国に出発する多くの旅行客によって空港の混雑度は言葉では言い表せないほどです。８ 月を避暑シーズン、休暇シーズンと呼ぶのもこのような理由ですが、避暑シーズンの良くない結果としては、主日のミサの参加者が少ないということです。
ここ日本も、このような状況は韓国と大きく変わらないと思います。
神様も，第七の日に，ご自分の仕事を離れ，休まれたのと同じように，休みは神からの賜物です。
ただ、食べたり，飲んだり，遊んだりで終わるのではなく、リフレッシュの時間です。
世の中が慌ただしい状況でも周りの混雑に振り回されず、静かに誰も知らないうちに訪ねてくる神様にいつも祈りながらイエス様を待ち望む夏の休暇シーズンになることを祈ります。

ステファノ神父

## 聖地巡礼

9班　古木圭介

世界には多くの宗教があり、それぞれの特徴がある。
多くの信徒たちは聖職者がかつて生まれた地や、布教のために歩いた地、そして亡くなった地を「聖地」として大切にしてきた。
その例を挙げると、キリスト教の聖地は言うまでもなくイスラエルにあるキリスト誕生の地ベトレヘムや十字架にかけられ復活の地ゴルゴダの丘などが欠かせない。私もかつて鹿児島の信徒さんたちとこの地を数回訪れたことがある。
また奇跡を起こしたと言われる地も多いが、キリスト亡きあと多くの聖人たちが布教のため歩いた地なども聖地として今でも多くの巡礼者が訪れている。
その一つが「サンチャゴの道」である。
1000年ほど前に聖ヤコブの骨が見つかったとされる北スペインである。
巡礼路はいくつかあるが代表的なのがピレネー山脈の麓のサン・ジャン・ピエ・ド・コショから850km先のサンチャゴ・デ・コンポステーラの町までの「フランス人の道」だろう。
私はまだ歩いたことはないのだが、友人の何人かが歩いておりその様子はよく聞いていた。
2004年、和歌山県の熊野古道が世界遺産に指定された。
サンチャゴの道と熊野古道は以前から姉妹盟約を結んでいた。
熊野古道の歴史も1000年以上に遡り、弘法大師（空海）が高野山にお寺を築いたことに始まり、修験道が熊野大社を目指して厳しい修行のために歩いていた。
私も数日かけて熊野古道を2度歩いているが、最近は欧米豪の方々を多く見かけるようになった。
途中の民宿で風呂に入りながら情報交換などをすると、なぜ熊野古道を歩くのかと問うと、ある英国人青年が「この道は Spiritual（スピリチュアル）だから」と答えが返ってきた。つまり「神聖な気持ちになる」と言うことだろう。（写真：山中で出会った青年）

四国の八十八か所巡りのお遍路も有名で、その英国人青年は 1 ケ月かけて歩いてきたという。
イスラム教の聖地メッカの巡礼も有名であるし、ヒンズ―教の聖地ベナレスや仏教の聖地サルナートに行くと多くの信者が祈っている姿を見かけるが、神聖で穏やかな気持ちになる。
それがなぜ憎しみ合い、殺し合うのだろう。
世界の指導者たちも一度、自分の足で世界の巡礼路を歩くことをお薦めしたい。

# 令和7年(2025年) 谷山教会　8月の予定と祝日表 (8月 1日～8月31日)

| 日 | | 時 | 典礼と行事 | 朗読奉仕者 | 掃除当番 | 班会 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1日 | 金 | 記念日<br>6:30 | 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士<br>初金ミサ | | | |
| 2日 | 土 | 19:00 | 年間第18主日のミサ/聖母の土曜日 | | ⑤・⑪ | 教会 |
| 3日 | 日 | 6:30&9:00 | 年間第18主日のミサ<br>聖アルフォンソ祭　ミサ後(クレメンスホール) | ⑤・⑪ | | |
| 4日 | 月 | 記念日<br>6:30 | 聖ヨハネ・マリア・ビアンネ司祭<br>朝ミサ | | | |
| 5日 | 火 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 6日 | 水 | 祝日<br>19:00 | 主の変容＊日本カトリック平和旬間(6日～15日まで)<br>召命ミサ | | | |
| 7日 | 木 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 8日 | 金 | 記念日<br>6:30 | 聖ドミニコ司祭<br>朝ミサ | | | |
| 9日 | 土 | 19:00 | 年間第19主日のミサ/聖母の土曜日 | | ⑥・⑦ | 教会 |
| 10日 | 日 | 6:30&9:00 | 年間第19主日　(ミサ中初盆の追悼ミサ)5名 | ⑥・⑦ | | |
| 11日 | 月 | 記念日<br>6:30 | 聖クララおとめ<br>朝ミサ　山の日 | | | |
| 12日 | 火 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 13日 | 水 | 19:00 | 召命ミサ | | | |
| 14日 | 木 | 記念日<br>6:30 | 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者<br>朝ミサ | | | |
| 15日 | 金 | 祭日<br>10:00 | 聖母の被昇天<br>聖母の被昇天ミサ　谷山教会　キリスト教伝来記念祭 16:00～(ザビエル教会) | | | |
| 16日 | 土 | 19:00 | 年間第20主日のミサ/聖母の土曜日　教会学校キャンプ | | ⑧・⑨ | 教会 |
| 17日 | 日 | 6:30&9:00 | 年間第20主日　役員会　川内教会へ | ⑧・⑨ | | |
| 18日 | 月 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 19日 | 火 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 20日 | 水 | 記念日<br>19:00 | 聖ベルナルド修道院長教会博士<br>召命ミサ | | | |
| 21日 | 木 | 記念日<br>6:30 | 聖ピオ十世教皇<br>朝ミサ | | | |
| 22日 | 金 | 記念日<br>6:30 | 天の元后聖マリア<br>朝ミサ | | | |
| 23日 | 土 | 19:00 | 年間第21主日のミサ/聖母の土曜日 | | ⑩ | 教会 |
| 24日 | 日 | 祝日<br>6:30&9:00 | 聖バルトロマイ使徒<br>年間第21主日　司牧評議会 | ⑩ | | |
| 25日 | 月 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 26日 | 火 | 6:30 | 朝ミサ | | | |
| 27日 | 水 | 記念日<br>19:00 | 聖モニカ<br>召命ミサ | | | |
| 28日 | 木 | 記念日<br>6:30 | 聖アウグスティヌス司教教会博士<br>朝ミサ | | | |
| 29日 | 金 | 記念日<br>6:30 | 洗礼者ヨハネの殉教<br>朝ミサ | | | |
| 30日 | 土 | 19:00 | 年間第22主日のミサ/聖母の土曜日 | | ① | 教会 |
| 31日 | 日 | 6:30&9:00 | 年間第22主日 | ① | | |

今月の行事当番班は、②・③班です。

9/14(日)9:00ミサ中高齢者の方々のためのミサ　・ミサ後茶話会
(昨年同様、癒しの秘跡「病者の塗油」を執り行います。)

| | | |
|---|---|---|
| ロザリオの祈り | 毎週火曜日　10:00～ | 5, 12, 19,26日 |
| レジオ・マリエ | 毎週水曜日　13:30～ | 8月はお休みです。 |
| 聖書と教理ーⅡ | 毎週金曜日　10:00～12:00 | 夏休みのためありません。 |